



アクモス 株式会社

事業説明会

中期経営計画(平成25年7月から平成28年6月) **の概要**

2013年9月26日
代表取締役 飯島 秀幸

1. 当社グループの特長

2. 今後の事業環境予測

3. 中期経営計画(2013/07~2016/06)

4. 事業戦略



アクモス 株式会社

当社グループの特長

社会インフラシステムを支える ITソリューション&ITサービス

ITソリューション		ITサービス	
システム開発	構築・運用保守	BPO・情報処理	IT製品の検証
情報系・製造系システム、 地図(GIS)ソリューション	ネットワーク構築、クラウド	マークシート・アンケート集計、 入力処理、事務局代行	規格認証、第三者検証、 ユーザビリティ
SYMPROBUS (消防通信指令、スマートデバイスソリューション)			
ガス 	電力 	通信 	学校 
宇宙 	ダム 	一般企業 	
交通 	上下水 	行政 	
		医療 	
消防、警察・警備 		メーカー (製造業) 	



アクモス 株式会社

今後の事業環境予測



所有から利用へ

所有から利用へのシフト

所有



利用

・インターネットの登場

・インターネットの高速化
・Web技術の向上



スクラッチ開発 パッケージソフト

ASP

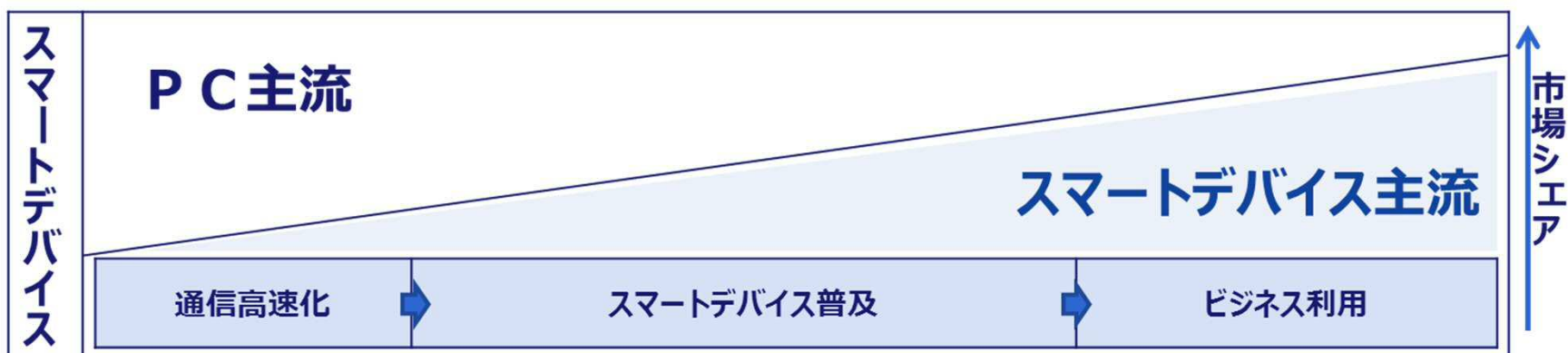
クラウド

自社内管理設備 ハウジング

ホスティング BPO

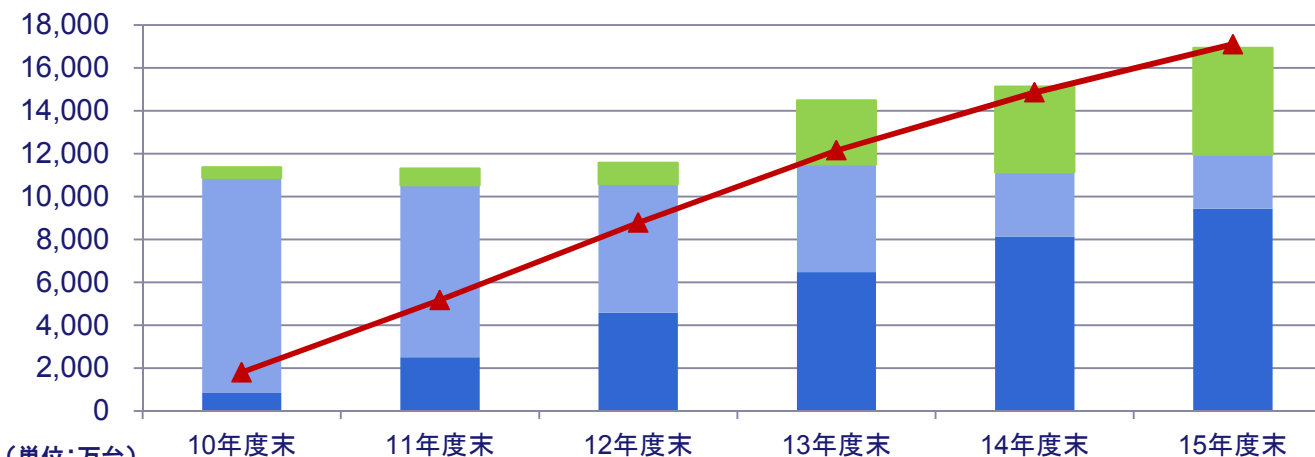
スマートデバイスの普及

主流はPCからスマートデバイスへ



■スマートフォン等 普及台数の推計

■スマートフォン ■フィーチャーフォン ■モバイルWi-Fiルータ・データカード ▲スマートフォン比率



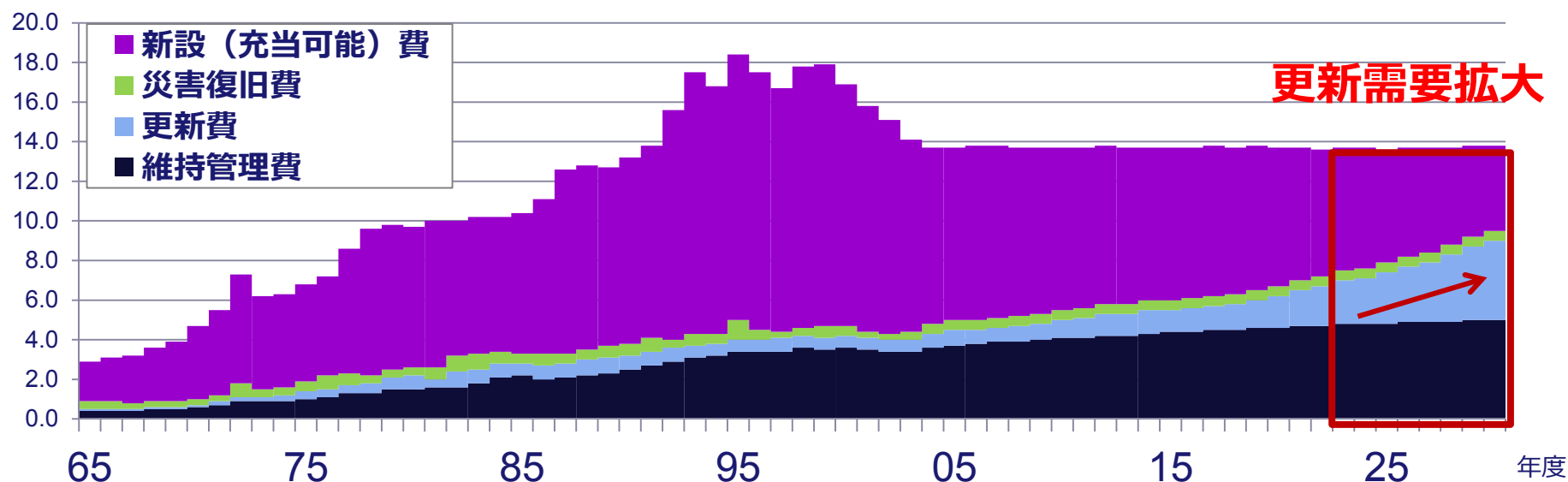
スマートフォン比率、
モバイルWi-Fiが急増

社会インフラシステムの重要性

社会インフラシステム老朽化に伴う更新需要、 新技術対応の取組みが進む

社会インフラシステム	
エネルギー関連	HEMS、BEMS
交通関連	充電インフラシステム、信号制御システム、街路灯システム
流通・リテール関連	デジタルサイネージシステム、POSシステム、電子棚札システム
セキュリティ・防災関連	ホームセキュリティシステム、ビルセキュリティシステム、公共セキュリティシステム
医療・ヘルスケア関連	電子カルテシステム、地域医療連携システム、KIOSK健診システム

投資額：兆円





アクモス 株式会社

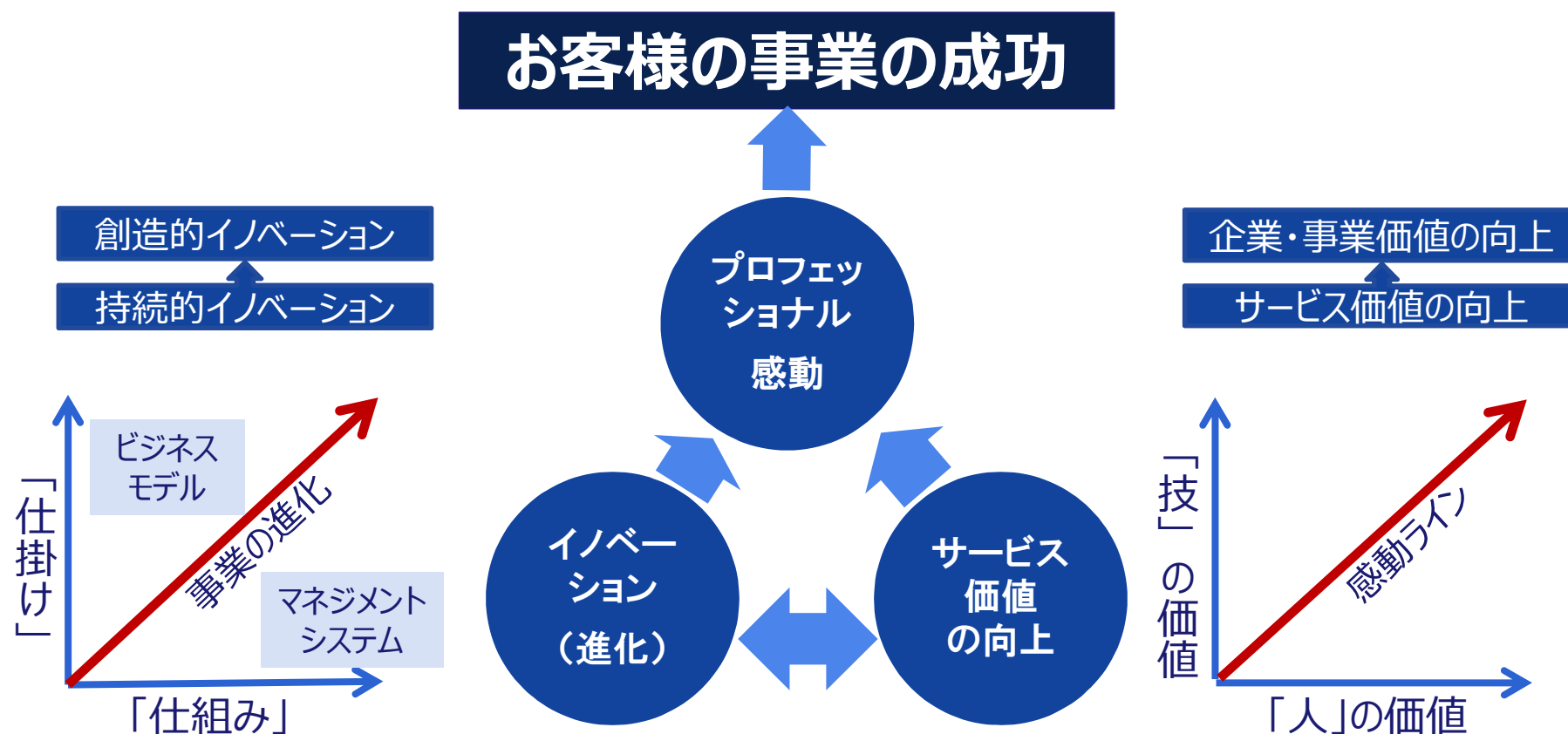
中期経営計画 (2013/07～2016/06)

経営理念

「私たちアクモスグループは、お客様に感動していただけるプロフェッショナルなサービスを提供いたします。」

イノベーションの軸 ◆ 「仕掛け」と「仕組み」の進化による持続的、創造的イノベーションの実現

サービス価値の軸 ◆ 「技」と「人」の価値を高めることによるサービス価値、企業・事業価値向上の実現





スローガン

再生から成長、創造へ



◆キーワード

専門性

既存事業の強化

時流適応

新規事業創出

収益力強化

営業利益率8%を目指す



基本方針（定性目標）

1. 専門性強化、成長分野の取り込みにより、事業の進化を図る

- 既存事業の絞り込みと集中による専門性強化
- 成長分野の取り込みを行い、時流適応型事業を創出
- グループ会社間の事業・営業連携を強化し、サービスを拡大

2. 人財力・技術力アップにより、サービス価値の向上を目指す

- 「個」の成長により、プロフェッショナルな集団を目指す
- アクモスブランド『SYMPROBUS』事業の展開

3. お客様の事業の成功に貢献し、安定的収益力を確保

- 「〇〇ならアクモス」と指名されるパートナーとなり、収益基盤を強化
- 安定的収益力を確保し、株主・社員への還元、将来事業への投資



経営目標（数値目標）

■ 2016年6月期目標 売上50億円、営業利益4億円

単位：百万円

	2014年6月期	2015年6月期	2016年6月期
売上高	3,500	4,000	5,000
ITソリューション※	3,530	3,850	4,620
ITサービス※	460	560	700
営業利益	80	165	400
経常利益	80	166	355
当期利益	50	80	200

※セグメントの売上高は連結相殺前の数値となっております



利益配分方針

安定的な期末配当の継続を目指す

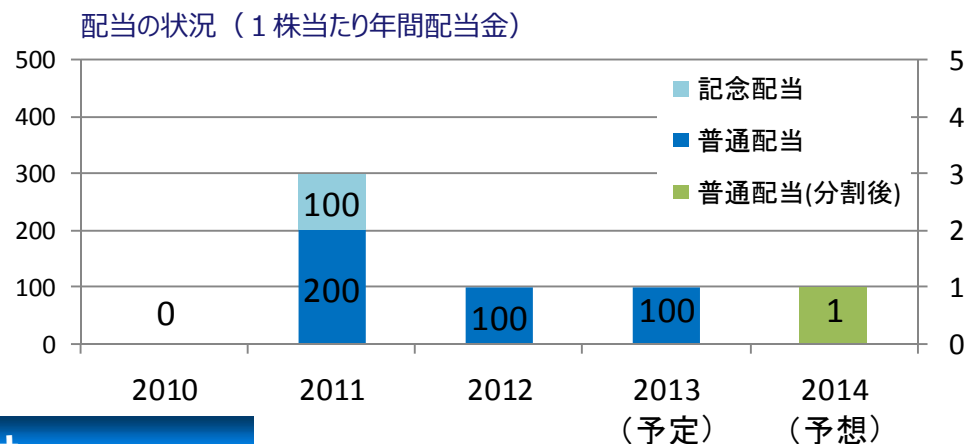
第22期の期末配当は1株当たり100円、第23期の期末配当予想は1株当たり1円
(※2013年7月1日付で株式分割を実施し、1株を100分割しております)

配当政策

当社は、株主の皆様に対する安定的な配当の実現を、中長期的な重点課題として位置づけております。

【利益配分に関する基本方針】

- ・配当原資確保のための収益力向上を図る
- ・財政基盤の強化に努める
- ・単体当期純利益に対する配当性向30%を目標に連結業績と内部留保を勘案し、配当を行う



株式分割実施、単元株制度導入のお知らせ

平成19年11月27日に全国証券取引所が公表した「売買単位の集約に向けた行動計画」の趣旨を踏まえ、当社株式を上場している証券市場の利便性・流動性の向上に資するため、2013年7月1日付で、1株を100株に分割するとともに、当社株式の売買単位を100株とするため、1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用いたしました。



アクモス 株式会社

事業戦略



アクモスブランド「SYMPROBUS」事業の展開

既存システムソリューションの強化と、新たなソリューションの創出・事業化へ

消防通信指令 システム ソリューション	既存 Fシリーズ	受注確保	N倍化ビジネスへ
	新規	新ソリューションの 検討・開発	製品化
地図GIS情報 システム ソリューション	新規	既存サービスのパッケージ化	
		消防GISの開発	製品化
		モバイルGISの開発	製品化
		クラウドGISの開発	製品化

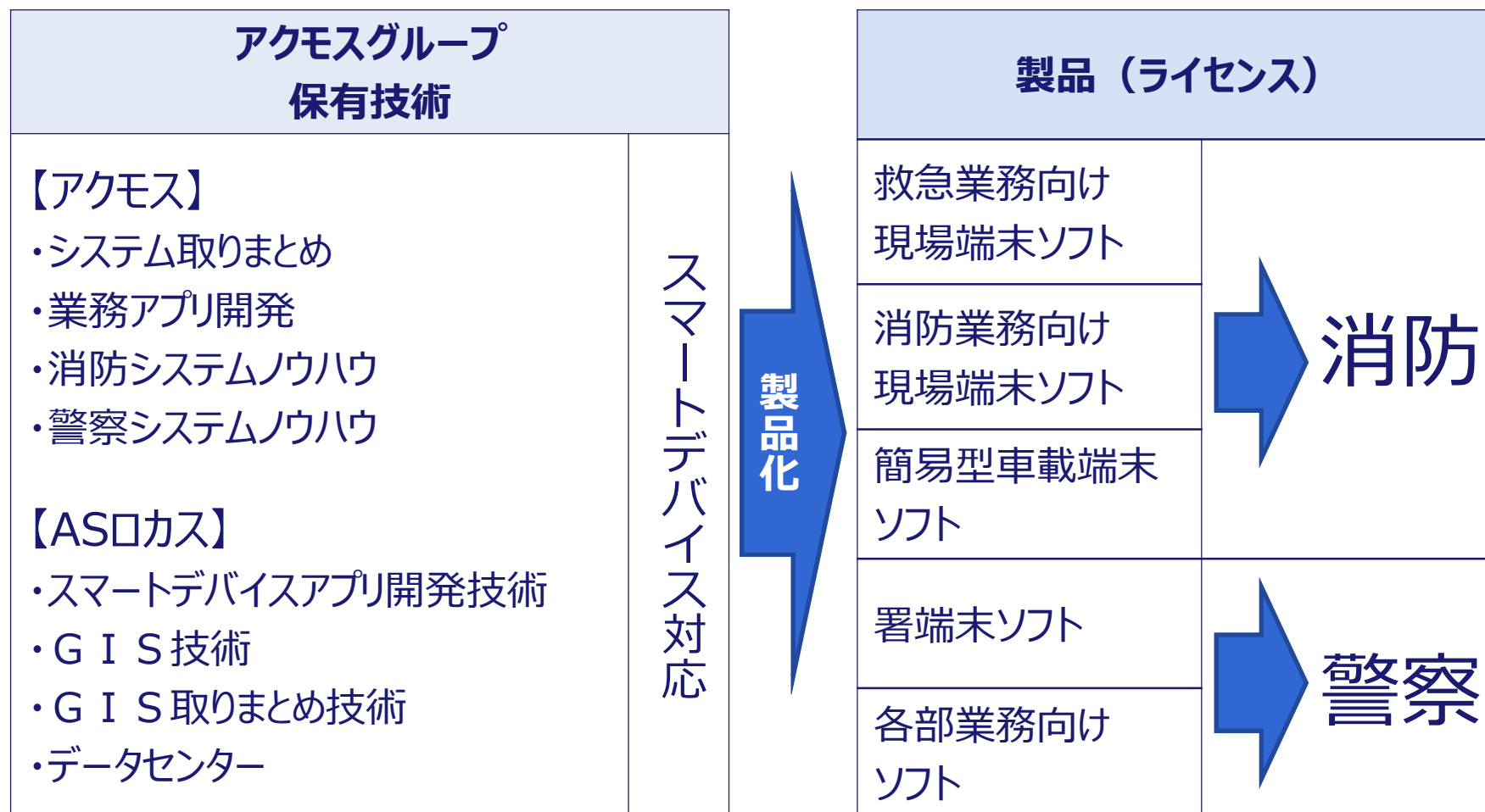


ITソリューション事業 戦略テーマ②

スマートデバイスソリューションの展開

アクモスグループの保有技術を結集し、スマートデバイス対応製品を開発・展開へ

アクモス株式会社 システムインテグレーション + A S ロカス株式会社 G I Sソリューション



デモンストレーション

2013年9月26日の説明会では、ここで、
昨年度の研究開発において製作した試作システムについて、
デモンストレーションを行いながらご説明しました。



消防署向けタブレット端末案件状況

2013年9月現在

	件数	状況
受注済	2	現場端末として受注
		固定型の車載端末として受注
提案中	5	現場端末として提案中
提案予定	10	固定／可搬型車載端末として提案予定



【提案ターゲット】

- ・消防無線のデジタル化対応を予定されている消防署
- ・車両動態管理システムの更新を予定されている消防署等

タブレットを活用した車載端末開発のポイント

- ・固定または**可搬**としても利用可能
- ・通信手段が豊富（無線LAN、3G、**デジタル無線**）

デジタル無線を使用したタブレット端末は**業界初**

★ 1 タブレット端末



各種情報の表示・
操作を行います。

★ 2 制御ユニット



各機器からの情報の
制御を行います。

★ 3 GPS/加速センサ



GPS及び加速センサ
から自車位置の計測
を行います。

★ 4 デジタル無線器



デジタル無線により、本部と
情報の送受信を行います。

★ 5 車外設定器



車外より活動状況
の設定を行います。



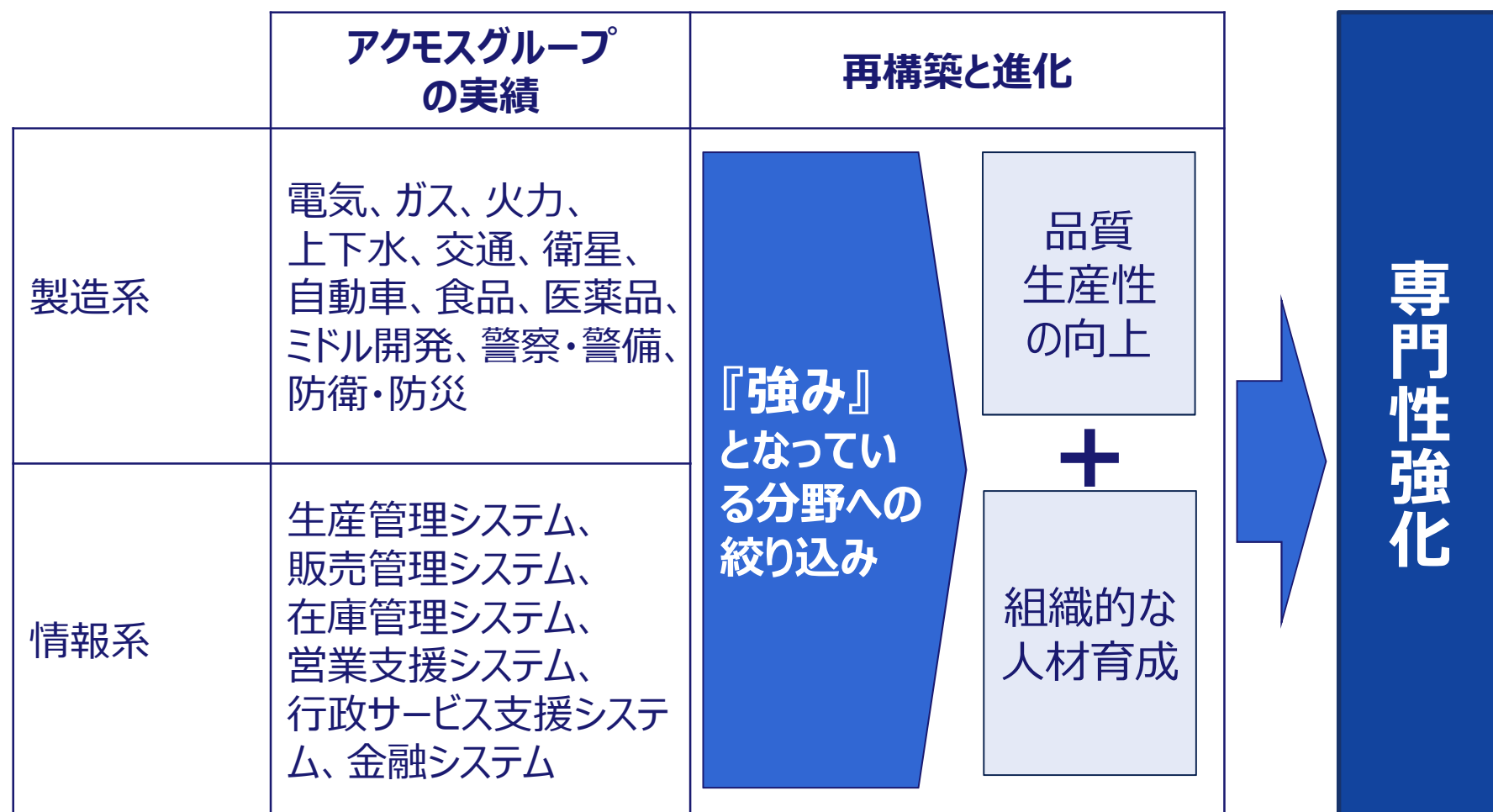
今後は、国の平成24年度ものづくり助成金を一部活用し、開発を推進します。



開発分野の絞り込みによる専門性強化

PSP（プロフェッショナル・サービス・プロバイダー）としての専門性強化

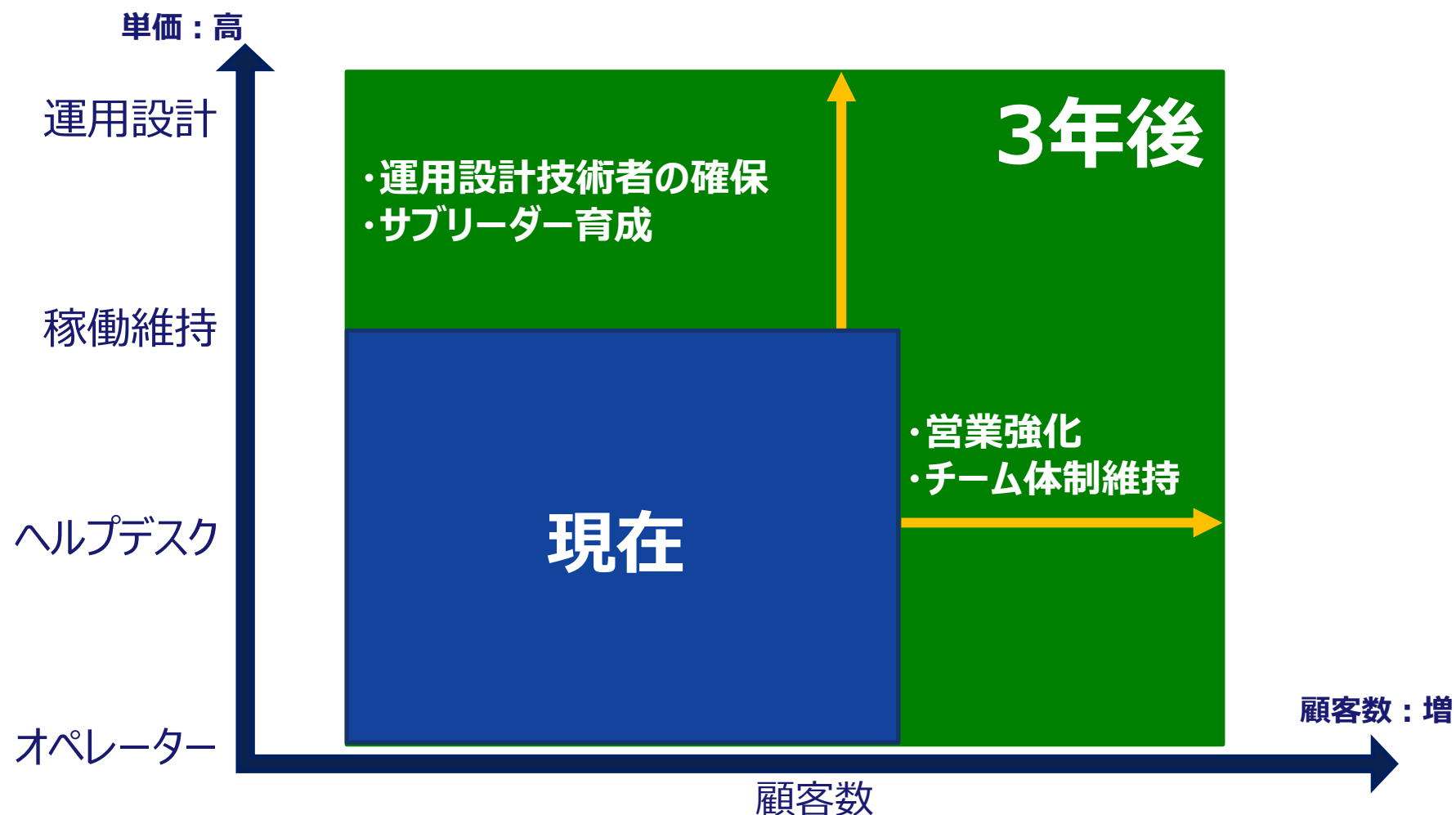
「〇〇ならアクモスグループ」とお客様に指名される存在へ





ITソリューション事業 戦略テーマ④ 運用・構築分野の拡大

単価 UP サービス価値を高め	×	顧客数 UP お客様を増やす	=	運用・構築分野の売上拡大
--------------------	---	-------------------	---	--------------





クラウド運用サービスへの展開

お客様のIT最適化・収益事業等に結びつく「クラウド運用サービス」を創出

・組織横断的な推進グループ設置

・大手ベンダーとの協業により
最適なサービス利用環境の提供

・クラウド運用代行サービスに
特化したITサービスマネジメントの
標準化

クラウド運用サービスの展開

既存のお客様

システムリプレイス時の
提案・利用推進

お客様内の横展開にて
提案・共同利用推進

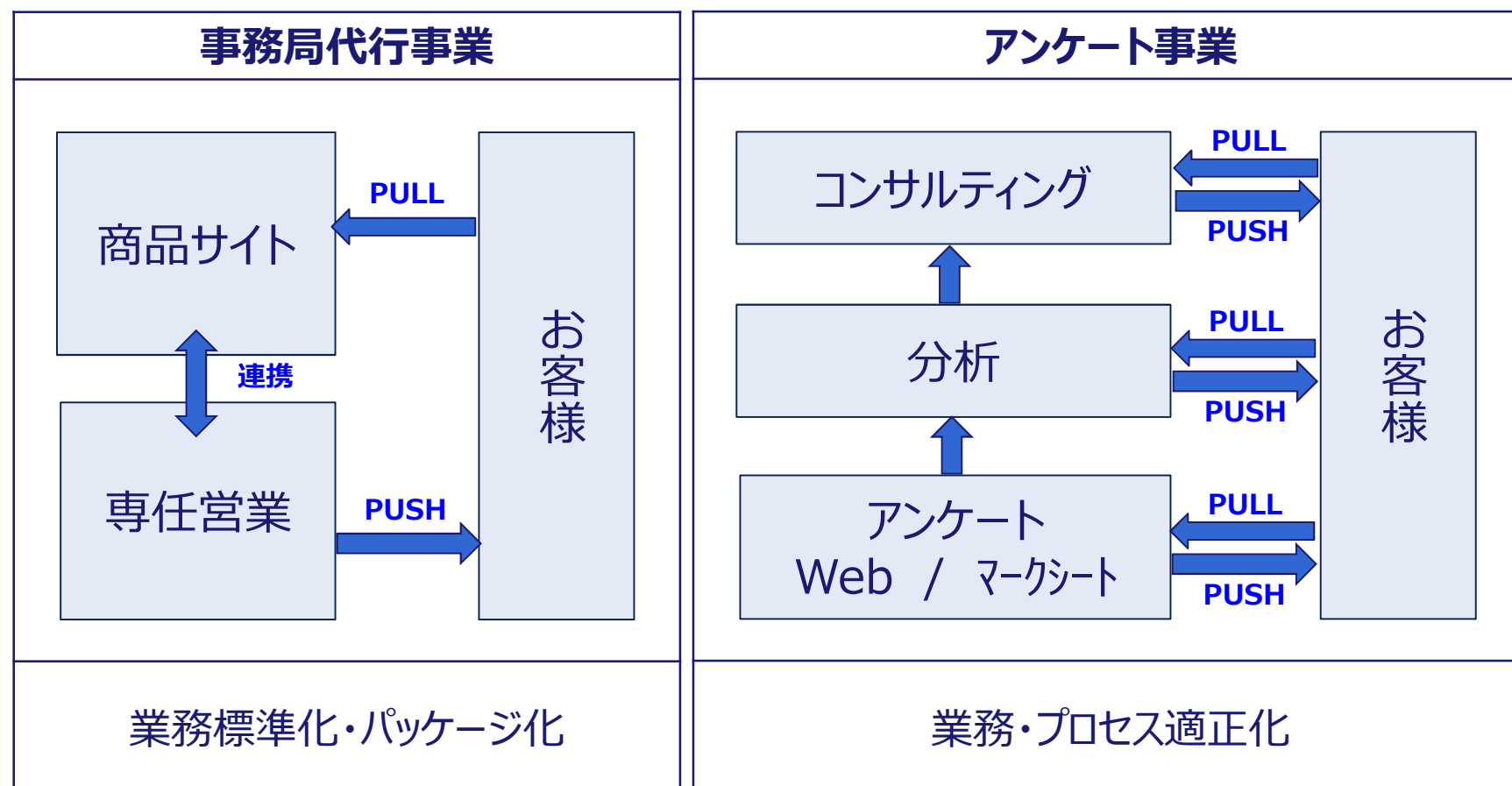
新規のお客様

官公庁への
提案・利用推進

民間への
提案・利用推進

事務局代行事業、アンケート事業の進化

- ・お客様の多様な情報処理・アウトソーシングニーズに対応し、真のパートナーシップを確立
- ・営業戦略 Web活用によるPULL型 + 専任営業担当によるPUSH型





規格や検証サービスのライフサイクルに適合した事業展開

- ・黒字化と収益基盤の安定化
- ・導入期の規格認証に関連サービスを組み合わせ成長につなげる

<主なサービス別ライフサイクル>

導入期	成長期	成熟期	衰退期
USB3.0	DLNA		
ECHONET Lite			
無線LAN検証			USB2.0

無線LAN検証サービス

- ・独立系第三者検証機関として無線LAN製品の検証サービスを推進

お客様の無線LAN対応製品

動作検証
相互接続検証

・他社アクセスポイント
・PCルーター
・クライアント機器

ECHONET Lite規格関連サービス

- ・ECHONET Liteは、日本国内のHEMS標準プロトコルとして経済産業省に認定(2011年12月)
株式会社エクスカで提供中のサービス

規格適合性認証

自己認証テスト・認証仕様書作成支援

相互接続検証

■ 本資料について ■

本資料に記載されている将来の見通しなどについては、本資料の発表日時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものです。今後、当社を取り巻く内外の経済情勢、業界動向、需給関係等の変化にともない、業績見通しが変更される可能性があります。

また、本資料は、当社の株式購入など投資を勧誘する目的で作成されたものではありません。

なお、本資料の将来の見通しについての記述に関しましては、法令上その手続きが必要となる場合を除き、事前の予告なく変更する場合がございますので、予めご了承ください。

アクモス株式会社

経営企画室 TEL : 03-5217-3123